





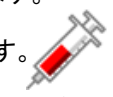


腰椎後方椎体間固定術スケジュール

*この表はおよその経過をお知らせしたものです。種々の都合により予定通りではないこともありますので、予めご承知ください。

下関市立市民病院 H27年11月12日作成

月・日	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	
	入院～手術前日	手術前	手術後	術後1日目	術後2日目	術後3日目	4～6日目	7～10日目	10～15日目	16～21日目	22日目 退院
・目標	手術の必要性と内容が理解できる	手術の準備が整う	術後合併症が起きない	痛み止めを使いながら痛みのコントロールができ、身の回りのことが自分でできる。日常生活の留意点が理解できる							
・食事	制限ありません (医師の指示による) 夕食まで食べることができます	絶食です。飲物に関しては前日に麻酔科医師の指示をお伝えします。薬は麻酔科医の指示のある方のみ内服します	絶飲食です 	朝からベットを起し食事ができます。内服も再開します	制限はありません(医師の指示による)						
・排泄	排便を確認します		手術室で尿管を挿入します				安定した歩行ができれば尿管を抜きます				
・安静度	制限はありません	車椅子か ベットで手術室に行きます	翌朝まで寝たまま過ごします。向きを変える時は看護師を呼んで下さい	コルセットを装着します							
・保清	手と足の爪を切ってください。入浴します。洗濯した肌着に着替えてください。			からだをタオルで拭きます			5日目以降にシャワー指導があります 				
・治療 ・処置 ・検査	・リハビリがあります ・内服中の薬のチェックがあります。いつも飲んでる薬を持参してください ・歯科受診があります	点滴をします。抗生剤の点滴があります   	リハビリを開始します 	1、3、7、14、21日目に採血があります。7日目に検尿があります。7日目、21日目にレントゲンがあります。7日目にCTがあります。結果によって他にも検査が追加されることがあります。 	ドレーンを抜きます		10日目に抜糸します				
・肺梗塞予防			間欠的空気圧迫装置を装着します		弾性ストッキングを装着し、運動による予防を行います						
・説明 ・指導	・看護師よりオリエンテーションを行います ・手術について主治医より説明があります(ご家族の同席をお願いします)	家族の方は手術が終わるまで外の控え室で待機して下さい 主治医よりご家族の方へ結果説明があります	治療の進行に合わせて、医師や看護師・リハビリスタッフ・薬剤師・栄養士・医療相談員がその都度、説明に伺わせていただきます。ご家族にも説明をさせていただくことがあります。病棟より、ご家族様へ連絡をさせていただくことがありますのでご了承ください。 ※保険等の書類の必要な方は、退院決定後1階11番窓口にご提出下さい。								

退院予定日

●準備していただくもの すべての物に記名をお願いします

- ・前あきの寝巻き2枚(病院で借りることもできます)
- ・T字帯 2枚(おむつの方は不要です)
- ・バスタオル 2枚 ・らくのみ
- ・タオル 2～3枚 ・リハビリ用の靴(かがまなくても履けるもの)
- ・運動できる服(上下のパジャマを借りることもできます)
- ・腹帯 2枚 ・コルセットの下に身につける肌着(術後3日目から必要になります)
- ・ティッシュ1箱 ・入れ歯入れ

- *ドレーン＝血抜ききの管のことです
- *弾性ストッキング＝足を適度に圧迫して血流量を増加させるための靴下です。病院で用意します
- *手術前日はしっかり腰を洗ってください

病名:

主治医:

受持ち看護師:

患者様氏名

継続的なリハビリテーションが必要となる患者様には、当院での治療終了後、リハビリを専門的に行う病院へ転院していただくこととなります。ご不明な点は医師や看護師、医療相談員にお尋ねください。